

ほっとすていだより



発行：奥出雲町病児保育施設 ほっとすてい
開所時間 7:30～18:00
0854-54-0017



【十五夜と中秋の名月の違いは？】

十五夜とは、旧暦で毎月15日の夜を言います。旧暦は、月の満ち欠けの周期を基準として一ヵ月の日付を決めている暦のことです。だから旧暦では、毎月15日が十五夜とされています。かたや、中秋とは旧暦の秋である7～9月の真ん中の日の8月15日を指します。この時期は月が美しく見えることから、旧暦8月15日の月を、中秋の名月と呼ぶようになったと言われています。

十五夜は毎月訪れるのに対して、中秋の名月は年に1回ということになります。また、中秋の名月の日は満月のイメージがありますが、旧暦8月15日は満月とは限りません。なぜなら月の公転軌道は楕円形なので、月の満ち欠けは一定ではないからです。

2024年の十五夜は、9月17日(火)です。今のところの予想では、満月になるのは翌日の18日のようです。今年はどんなお月様が見られるか、お子さんと一緒に楽しみにしてくださいね^^

【島根全県下でマイコプラズマ肺炎が増加傾向です】

マイコプラズマ肺炎は、飛沫や接触を介して移ります。ただ、マイコプラズマに感染すると必ず肺炎を起こすというわけではなく、一般的な風邪症状のみで回復することもあります。幼児の場合は、病原菌が付着した物に触れた手で、鼻や口を触って感染することが多いので、幼児が触る物はこまめに消毒しておきましょう。

潜伏期間中の2～4週間と回復してから1週間程の間も、まだ体内に病原菌がいるため、周りに移してしまう可能性があります。周囲への配慮も心掛けたいですね。

予防対策は、手洗い・うがい・消毒・マスク着用です。みんなで気持ちよく過ごせるように心掛けていきましょう。

